

櫻坂を緩歩中

公立高校の受検票について

多くの私立高校の受験票は願書印刷時に一緒に印刷され入手することが可能です。
今号では、公立高校の受検票についてご説明いたします。

①公立高校・一般受検

公立高校一般受検用の受検票は、2月3日（火）～13日（金）の間に各公立高校から中学校へ（受検番号が記入されて）郵送されてきます。

届いた高校から順に（バラバラに）生徒へ配付すると紛失したり、「渡した・渡されていない」というトラブルが懸念されます。そこで、全生徒分の受検票が届きましたら、生徒へ配付します。私立A日程入試（2月13日）もありますので、2月16日（月）を予定しております。

なお、例年、多くの公立高校の受検番号は中学校ごとに連番となっております。そこで、同じ教室で受検し、一緒に昼食をとることができます。（受検番号の関係で、2つの教室に分かれることはあり得ます。）

ただし、出願変更や再出願をすると受検番号が他の生徒と連番にならないことがほとんどです。

②公立高校・推薦受検

公立高校推薦入試用の受検票は、1月28日（水）までに各公立高校から中学校へ（受検番号が記入されて）郵送されてきます。

推薦受検をする生徒は少人数であることと受検票とともに推薦入試当日の集合時間などが記されたプリントも同封されてくることが多いため、届いた高校から順に生徒へ配付します。

受検票を紛失した場合の再発行は、大変、面倒な手続きを行う必要があります。絶対になくさないように気をつけましょう。

●公立高校入試時の本人確認と不審者対策

一昨年度の公立高校入試から、2022年の大学共通テスト当日に東京大学前で発生した刺傷事件を受け、試験会場に入る前の受検票を使用した本人確認と集合時間終了後の試験会場の施錠が徹底されております。

来春の入試については、そうした通知文がまだ中学校へ届いておりませんが、入試時の本人確認と不審者対策が徹底されると思います。

そこで、受検票は①カバンの取り出しやすい場所、かつ、②紛失しづらい場所に保管する必要があります。

●願書印刷用の白色上質紙について

私立高校も公立高校も願書は白色上質紙に印刷することとなっております。

白色上質紙について、「真っ白の用紙でなければ不可ですか。」といった問い合わせがありましたので、回答します。

一般的に白色と言われている用紙であれば可です。例えば、この進路通信の用紙は真っ白とは言えませんが、白色上質紙として認められます。

@coffee break 付せんシール

「付せんシール」、教科書の重要なページに貼っておくなど、使い道は様々ですが、とても便利な文房具です。

この付せんシールは1968年に研究の失敗から誕生したのをご存じですか。

アメリカのある化学メーカー研究員が、強力な接着剤を開発しようと研究を続けていました。

すると、逆に接着力が非常に弱い接着剤が完成したそうです。この接着剤は使い道がないであろうと半年の間、放置されていたそうですが、同僚の研究員が賛美歌集にはさんでおいた紙のしおりが歌集を開く度に床に落ちるため、紙のしおりにこの接着力の弱い接着剤をつけてみたところ、とても便利なことに気づいたといいます。その後、この接着力の弱い接着剤がついた紙のしおりは製品化され、世界中で大ヒットとなる付せんシールが誕生したそうです。

さて、「付せんノート」というノートの使い方をご存じですか？

ノートに直接書かずに、全て付せんシールに書いたものを貼って構成されたノートを付せんノートというそうです。ノートに間違えたことを書いてしまった場合、普通は消して書き直しますが、付せんシールを取り替えるだけでOKですし、ノートの構成を変更したい場合も、シールの位置を変えるだけですみます。関心のある方は、一度、付せんノートを作ってみてはいかがでしょうか？